

3月会長定例記者会見

Q. 第70回日本放送協会放送文化賞について

A. (上田会長) 1949年度に創設したこの賞は、放送事業の発展や放送文化の向上に功績のあった方々に贈呈しています。選考委員会を開き、有識者の方々の意見を伺いながら、受賞者を決めています。今年の受賞者は9人です。

俳人で日本伝統俳句協会会長の稲畑汀子さんは、俳句関連番組に多数出演し、放送を通じて俳句文化のすそ野を広げ、俳句ブームの礎を築きました。

東京大学名誉教授の伊福部達さんは、高齢者や障害者の「見る、聞く、話す」を支援する福祉工学の第一人者で、緊急地震速報のチャイム音を開発しました。

恵泉女学園大学学長の大日向雅美さんは、30年以上にわたり育児番組に欠かせない存在です。育児・教育問題の専門家として視聴者の共感を集めています。

NHK交響楽団正指揮者の尾高忠明さんは、日本を代表する国際的指揮者として、40年以上にわたり数多くの音楽番組に出演しました。

俳優の近藤正臣さんは、大河ドラマなど数多くのテレビドラマに出演しました。幅広い役柄を演じ、日本のテレビ界を半世紀にわたり支えています。

作家で明治学院大学教授の高橋源一郎さんは、教養系番組に対する貢献度が高く、現在、ラジオ第1「すっぴん！」金曜日のパーソナリティーを務めています。

狂言師の野村萬さんは、半世紀以上にわたり古典芸能番組に出演。日本芸能実演家団体協議会会長として放送と伝統芸能の世界をつなぐ役割を果たしています。

鹿児島県の志学館大学教授の原口泉さんは、薩摩藩の歴史研究の第一人者として大河ドラマ「西郷どん」などで時代考証を担当しました。

兵庫県立大学大学院教授の室崎益輝さんは、防災学の専門家として、阪神淡路大震災以降20年以上にわたって数々の震災・防災関連番組に出演しました。

贈呈式は3月15日の放送記念日の式典で行います。

(詳細は報道資料参照)

Q. 8K番組 ヴェルサイユ宮殿など名所案内について

A. (会長) 4月のBS8Kは、「紀行」をテーマに番組を集中的に放送します。4回シリーズでお送りする「究極ガイドTV」では、フランスのヴェルサイユ宮殿やイタリアのコロッセオ、日本の日光、厳島といった世界各地の人気の場所を2時間でまわる究極のルートをご案内します。このうち、4月7日に放送する「2時間でまわるヴェルサイユ宮殿」では、ルイ14世やマリー・アントワネットが舞踏会を行った鏡の間といった代表的なものから、宮殿の壁や天井にふんだんに施されている彫刻と絵画を組み合わせた装飾まで、まるでその場にいるかのような臨場感でご覧いただけます。

スポーツ中継では、4月2日から始まる日本水泳選手権を連日、BS8Kで放

送します。3年前のリオデジャネイロオリンピックでも競泳を8Kで制作しましたが、今回は、泳ぐ選手に並走するレールカメラやスローモーションがより鮮明に見えるハイスピードカメラにも8Kを導入し、より臨場感がある映像をお届けします。

3月23日から始まる選抜高校野球では、準決勝・決勝の3試合をBS4Kで放送します。8台の4Kカメラを駆使し、総合テレビとは別に、映像も実況解説も4Kオリジナルでお伝えします。

(詳細は報道資料参照)

Q. BS特集「ZARDよ永遠なれ」映像・音源初公開について

A. (会長) BSプレミアムでは、平成を代表するヒット曲の数々を生み出した「ZARD」の貴重な未公開資料から、名曲が生まれた背景に迫る特集番組を放送します。

「負けないで」「揺れる想い」など、数々のミリオンヒットを生み出した「ZARD」は、ボーカルの坂井泉水さんの澄んだ歌声と、坂井さん自身が作詞した歌詞が共感をよび、多くの人々の心をつかんできました。坂井さんは、詞を作るため、デビューから40歳という若さで亡くなるまで毎日のように膨大なメモを書き留めていました。今回、そのメモを詳細に読み解くことで、これまで知られていなかった、歌詞にこめられた坂井さんの思いが浮かび上がってきました。

番組では、メディアに露出することがきわめて少なかった坂井さんの素顔をとらえた映像や収録音源など、これまで公開されていなかった貴重な資料も紹介し、いまもなお、幅広い世代の人々の心をとらえ続ける名曲誕生の秘密に迫ります。

(詳細は報道資料参照)

(以上)